

大阪府再生可能エネルギー等導入推進基金事業 導入設備の稼動状況について【枚方市】

1 導入施設

サプリ村野、枚方市立蹠跏東小学校、枚方市立西長尾小学校、枚方市立磯島小学校、枚方市立小倉小学校、枚方市立西牧野小学校、枚方市立中宮北小学校【全7箇所】

2 導入設備の概要

■サプリ村野、磯島小学校、蹠跏東小学校

太陽光パネル	10.2kW（255W×40枚） カナディアンソーラー製CS6P-255P
パワーコンディショナー	10kW 安川電機製 CEPT-P1AAB010BMC
蓄電池	5.6kWhソニー製 ESSP-4000A

■西長尾小学校、西牧野小学校、小倉小学校、中宮北小学校

太陽光パネル	10.75kW（215W×50枚） 京セラ製KK215P-3CD4CG
パワーコンディショナー	10kW 安川電機製 CEPT-P1AAB010BMC
蓄電池	5.6kWhソニー製 ESSP-4000A

3 活用状況・導入によるメリット

【省エネルギーの効果】

○通常時は、発電電力を、学校で使う電気の一部として利用することで、CO2排出量削減につなげることができた。

* 発電量：68,568.70kWh【平成27年4月から12月】

⇒平成26年度電気使用量の約9%に相当。

【環境教育への活用状況】

○市独自に太陽光発電システムによる発電状況がわかる環境教育用表示モニターを設置し、児童への環境教育や、来校・来館される保護者等への啓発にも活用している。

また、小学校では、学校だよりや授業の中で当該モニターを積極的に周知し、その上で、天気によって発電量に変化があることに注目させるなど、具体的な環境教育を行っている。



【環境教育用表示モニター】

4 災害時の操作方法の周知

○災害時に導入設備の機能を十分使えるように、以下の取組みを実施。

- ・平成27年4月に、各小学校等に対して操作等の説明会を開催。
- ・防災訓練の際に、順次、設備の概要、操作方法等について周知。【太陽光パネル】
- ・毎年5月ごろに実施されている「避難所派遣職員研修」の中で、設備の概要、操作方法等について周知する予定。



【非常用コンセント】



【蓄電池】